市立芦別病院経営強化プラン

点検・評価報告

令和７年１１月

も　　く　　じ

1　役割・機能の最適化と連携強化……1
⑴　地域医療構想等を踏まえた当院の果たすべき役割・機能……1
⑵　地域包括ケアシステムの構築に向けた果たすべき役割・機能……1
⑶　機能分化・連携強化……1
⑷　医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標の設定……2
⑸　一般会計負担の考え方……2
⑹　住民の理解のための取組……2

2　医師・看護師等の招聘と働き方改革……2
⑴　医師・看護師等の招聘……2
⑵　臨床研修医の受入等を通じた若手医師の招聘……2
⑶　医師の働き方改革への対応……2

3　経営形態の見直し……3

4　新興感染症の拡大時等に備えた平時からの取組……3

5　施設・設備の最適化……3
⑴　施設・設備の適正管理と整備費の抑制等……3
⑵　デジタル化への対応……3

6　経営の効率化等……3
⑴　経営指標に係る数値目標……3
⑵　目標達成に向けた具体的な取組……5
⑶　経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画……5

市立芦別病院経営強化プラン
点検・評価報告

市立芦別病院経営強化プランは、令和５年度から令和９年度までの５年間を目標期間とし、医療需要・環境が変化していく中で継続して安定した医療を提供していくため、健全な事業運営を目指すために策定したものであり、その実施状況について点検・評価を行い公表するものです。

令和５年５月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが５類感染症へと移行され、令和６年度以降、国がこれまで行ってきた新型コロナウイルス感染症への特別な対応は全て終了したことに加え、コロナ禍を経た患者の受療動向の変化や人件費及び物価の高騰等により、医療機関の経営状況は悪化している状況にあります。

当院においても、経営状況の悪化に拍車がかかっている状況におりますが、地域の医療を支えていくため、様々な状況の変化に対応しながら医師・看護師他スタッフが一丸となって病院運営に取り組んできました。

【取組の実施状況】

１　役割・機能の最適化と連携強化

⑴　地域医療構想等を踏まえた当院の果たすべき役割・機能

令和６年度現在で一般病床６０床、療養病床３９床（うち８床は休床）を有する病院として、急性期患者及び慢性期患者の診療にあたりました。令和６年度をもって野口病院が閉院になったことから、２病院と２診療所の計４施設で地域医療を支えていくことになりますが、本市の特性を踏まえ、急性期機能については引き続き他医療機関と連携して対応していくとともに、回復期機能の充足を目指すほか、療養病床を維持してまいります。

また、外来診療科については、外科、整形外科など６診療科を出張医で対応しました。出張医対応している６診療科を常勤医による診療にすることは困難な状況にありますが、今後も大学や他医療機関と連携して地域に必要な外来機能を維持・提供してまいります。

⑵　地域包括ケアシステムの構築に向けた果たすべき役割・機能

市地域包括支援センターとの意見交換会や、みんなで介護を考える会に参加し、地域の医療機関及び介護施設等と情報交換を行いました。

引き続き地域における唯一の公立病院として、地域の医療機関、介護施設等と連携し地域包括ケアシステムの構築に努めます。

⑶　機能分化・連携強化

そら-ねっと（中空知地域医療連携ネットワークシステム）を活用し、中空知地域の６自治体病院間で診療記録や検査データ等の医療情報を共有し、連携強化を図りました。

また、隣接するあかびら市立病院とは地域医療構想の達成及び地域包括ケアシステムの構築に資することを目的に、行政も一体となって一般社団法人を設立しました。

今後も効率的な医療提供体制を確保し、継続的に提供するため連携強化を進めてまいります。

⑷　医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標の設定

指標	実績				目標値
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R9年度
病床稼働率（一般病床）	68.8%	73.7%	59.6%	57.3%	80.0%
病床稼働率（療養病床）※1	61.8%	61.1%	58.9%	40.6%	76.0%
救急車受入件数	392件	477件	446件	391件	500件
在宅復帰率	66.2%	65.7%	69.2%	64.8%	70.0%
訪問診療件数	35件	19件	31件	14件	50件
訪問看護件数 ※2	612件	527件	435件	416件	700件
紹介率	23.0%	17.5%	25.5%	11.8%	25.0%
逆紹介率	13.4%	13.2%	11.9%	13.0%	15.0%

⑸　一般会計負担の考え方

当院の経営が依然として厳しい状況にあることから、繰入基準に基づく負担とは別に、経営助成のための経費として、繰出基準によらない繰入金を一般会計から補助してもらいました。今後も経営状況の回復は見込めないことから、当面の間、経営助成の補助が必要となります。

⑹　住民の理解のための取組

当院が提供する医療について、病院ホームページなどで情報発信をしました。今後も市民に対して有効な媒体を利用して情報発信し、市民の健康管理を充実させてまいります。

2　医師・看護師等の招聘と働き方改革

⑴　医師・看護師等の招聘

令和６年度に常勤医師が５名から６名体制となりましたが、引き続き医師招聘の取組を進め、安定的な医療提供体制の確保を目指します。

また、医師以外の看護師等についても、看護学生の実習や地域の高校生等の職場体験を受入れました。そのことにより、当院に就職を希望する学生が増加することに期待しています。

⑵　臨床研修医の受入等を通じた若手医師の招聘

当院は、臨床研修協力施設の位置付けではあるものの、研修医の受入れ実績はない状況にあります。若手医師の招聘は持続的な医療提供体制の確保において重要な取組であることから、まずは指導ができる医師の招聘を優先的に進めます。

⑶　医師の働き方改革への対応

医師の時間外・休日労働時間の上限は原則として「年９６０時間」「月１００時間未満」に制限されています。令和６年度まで当院の医師は上限を超えていませんが、今後も勤務環境の整備に取組んでまいります。

3　経営形態の見直し

現時点では経営形態の変更は行わず、引き続き地方公営企業法の全部適用を継続してまいります。

4　新興感染症の拡大時等に備えた平時からの取組

発熱により感染症の疑いがある患者については、風邪等の症状がある患者と接触しないように休診中の外来を活用しました。また入院患者についても、一般患者と病室を分けることで院内感染防止の対策を行いました。

今後も新型コロナウイルス感染症への対応経験を活かし、新興感染症の感染拡大時に迅速に対応できるように、体制整備を図り対応してまいります。

5　施設・設備の最適化

⑴　施設・設備の適正管理と整備費の抑制等

現在の院舎は老朽化が進んでおり、配管及び熱源水ポンプ等不具合が生じた箇所がありますが最小限の修繕で対応しました。

また、医療機器等については幹部による査定を行い、計画的な更新を行っております。

【更新した主な医療機器等】
- 多人数用透析液供給装置
- 多項目自動血球分析装置
- 医用画像診断部門システム
- ＰＯＳレジシステム

⑵　デジタル化への対応

電子カルテシステムの更新を行ったほか、今後はそら-ねっと（中空知地域医療連携ネットワークシステム）の更新を予定しております。

医師・看護師等の負担軽減が図られるよう、今後もデジタル化の推進に向けて取り組んでまいります。

6　経営の効率化等

⑴　経営指標に係る数値目標

①　収支改善に係る指標

指標	実績				目標値
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R9年度
経常収支比率	95.4%	102.2%	94.8%	86.7%	100.1%
医業収支比率	76.5%	81.8%	73.1%	68.4%	86.7%
修正医業収支比率	69.6%	74.2%	64.5%	58.5%	78.9%
不良債務比率	23.1%	13.8%	14.6%	25.6%	0.0%
健全化法上の資金不足比率	2.8%	-	-	4.1%	-
累積欠損金比率	94.1%	78.8%	87.4%	103.8%	51.3%

② 収入確保に係る指標

指標	実績				目標値
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R9年度
常勤医師数	5人	5人	5人	6人	6人
1日当たり入院患者数（一般病床※）	41.3人/日	44.2人/日	35.8人/日	34.4人/日	48.0人/日
1日当たり入院患者数（療養病床）	24.1人/日	23.8人/日	23.0人/日	15.8人/日	29.6人/日
1日当たり外来患者数	208.8人/日	201.6人/日	181.4人/日	176.7人/日	213.0人/日
入院診療単価（一般病床※）	32,458円	35,053円	34,410円	33,938円	38,000円
入院診療単価（療養病床）	24,062円	25,318円	23,686円	22,323円	26,000円
外来診療単価	10,698円	10,719円	10,583円	10,860円	10,800円
平均在院日数（一般病床※）	22.7日	26.7日	24.5日	25.0日	22.0日

※一般病床：急性期一般入院料を算定する病床と地域包括ケア入院医療管理料を算定する病床の合算

③ 経費削減に係る指標

指標	実績				目標値
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R9年度
材料費比率（対修正医業収益）	18.1%	16.4%	16.3%	16.3%	16.3%
薬品費比率（対修正医業収益）	9.2%	8.7%	8.3%	7.7%	8.6%
委託費比率（対修正医業収益）	16.4%	15.2%	17.8%	19.2%	13.8%
職員給与費比率（対修正医業収益）	77.4%	72.9%	85.1%	96.0%	68.2%
減価償却費比率（対修正医業収益）	9.2%	7.6%	9.3%	9.6%	8.1%

④ 経営安定性に係る指標

指標	実績				目標値
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R9年度
常勤医師数	5人	5人	5人	6人	6人
常勤看護師数	58人	58人	57人	57人	60人
常勤医療技術職数	20人	20人	20人	19人	20人
常勤事務職員数	12人	12人	12人	13人	12人
企業債残高	549,864千円	479,469千円	413,041千円	378,352千円	315,926千円

⑵　目標達成に向けた具体的な取組

①　スタッフ採用

・医師招聘に向けて、大学医局等に医師派遣要請を行うとともに関連団体及びエージェントを活用し、医師を採用することができました。

・事務職員のプロパー化を目指し、医事専門職員を採用しました。

②　病床稼働率の向上

・令和６年度末に総合診療専門医を採用したことにより、今後病床稼働率の向上が期待できます。

③　外来患者数及び救急車受入件数の維持

・大学医局や近隣自治体病院から出張医の派遣により、外来機能及び救急医療体制を維持することができました。

④　経費の削減

・高額医療機器の購入について、年間予算の限度額を設定し、幹部による査定を行ったうえで計画的に購入することができました。

⑶　経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画

①　収益的収支計画　…　Ｐ６のとおり

②　資本的収支計画　…　Ｐ７のとおり

① 収益的収支計画

単位：千円

区分	実績		計画	実績	経営強化プラン対象期間				
					計画	実績	計画		
	R3年度	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度	R8年度	R9年度
医業収益	1,411,574	1,487,114	1,478,278	1,323,702	1,569,515	1,251,179	1,606,245	1,651,297	1,710,777
入院収益	700,616	786,103	778,811	649,338	842,493	554,780	866,101	898,031	949,638
外来収益	540,600	525,209	498,636	466,365	524,880	466,183	538,002	551,124	558,997
その他医業収益	42,214	37,499	47,989	51,128	49,300	49,301	49,300	49,300	49,300
他会計負担金	128,144	138,303	152,842	156,871	152,842	180,915	152,842	152,842	152,842
医業外収益	414,009	439,979	404,317	455,184	361,809	391,785	354,001	352,362	339,205
医業費用	1,844,773	1,818,188	1,848,078	1,809,576	1,921,007	1,829,634	1,977,578	1,982,444	1,974,073
職員給与費	993,007	982,731	992,350	993,202	1,057,901	1,027,973	1,067,886	1,067,018	1,063,022
材料費	232,346	221,259	219,944	189,678	233,519	174,493	238,984	245,687	254,537
減価償却費	118,183	101,998	108,751	108,876	101,624	102,902	142,083	140,301	125,960
経費	497,741	507,137	519,484	513,702	521,217	520,699	521,880	522,692	523,809
研究研修費	1,942	1,942	4,794	1,942	4,746	1,942	4,746	4,746	4,746
資産減耗費	1,554	1,554	2,755	1,554	2,000	1,554	2,000	2,000	2,000
医業外費用	68,656	66,861	71,790	66,733	73,102	65,339	73,247	73,518	74,128
特別利益	113,297	120,720	114,613	118,362	114,630	115,116	114,220	110,695	112,182
他会計繰入金	100,000	100,000	10,000	100,000	100,000	10,000	100,000	100,000	100,000
その他	13,297	20,720	14,613	18,362	14,630	15,116	14,220	10,695	12,182
特別損失	8,402	5,376	6,500	6,011	6,300	4,839	6,300	6,300	6,300
医業損益	△ 433,199	△ 331,074	△ 369,800	△ 485,874	△ 351,492	△ 578,455	△ 371,333	△ 331,147	△ 263,296
経常損益	△ 87,846	42,044	△ 37,273	△ 97,423	△ 62,785	△ 252,009	△ 90,579	△ 52,303	1,781
純損益	17,049	157,388	70,840	14,928	45,545	△ 141,732	17,341	52,092	107,663
累計利益余剰金/欠損金	△ 1,328,970	△ 1,171,582	△ 1,100,742	△ 1,156,654	△ 1,055,197	△ 1,298,386	△ 1,037,856	△ 985,764	△ 878,101

R5,R6の実績を反映した累計利益余剰金/欠損金	△ 1,281,045	△ 1,228,953	△ 1,121,290

② 資本的収支計画

単位：千円

区分	実績		計画	実績	経営強化プラン対象期間				
					計画	実績	計画		
	R3年度	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度	R8年度	R9年度
資本的収入	77,381	106,025	70,633	68,002	265,166	91,993	77,688	67,783	67,034
企業債	21,900	19,100	25,500	21,200	223,600	48,300	23,600	23,600	23,600
出資金	783	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金	40,418	43,825	45,131	43,592	41,564	41,404	54,086	44,181	43,432
その他	14,280	43,100	2	3,210	2	2,289	2	2	2
資本的支出	130,760	161,432	117,587	121,466	311,309	136,161	143,308	127,541	124,856
建設改良費	37,406	66,237	22,158	23,538	220,000	50,272	20,000	20,000	20,000
企業債償還金	88,554	89,495	87,629	87,628	83,509	82,989	115,508	99,741	
その他	4,800	5,700	7,800	10,300	7,800	2,900	7,800	7,800	
資本的収支差引	△ 53,379	△ 55,407	△ 46,954	△ 53,464	△ 46,143	△ 44,168	△ 65,620	△ 59,758	△ 57,822